公益財団法人 黒住医学研究振興財団
平成27年度 第23回 研究助成事業募集要項

1．研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として50歳以下）を主眼としています。(財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。)

2．応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公私立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3．対象領域

① 臨床化学
② 分子生物学（医学）
③ 臨床微生物学
④ 臨床免疫学
⑤ 検査血液学
⑥ 人体病理学
⑦ 疫　　学*　　＊臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究

の七つの領域とします。

4．募集期間

平成27年3月9日（月）から平成27年5月29日（金）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5．研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は1件100万円を限度とし、13件以上とします。

研究期間は、原則として1年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6．応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会 宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写2部」の合計3部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項からWord 2003ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7．審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が七つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。　その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8．研究助成金の贈呈

平成27年10月30日（金）の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

9．受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

① 研究結果については2,000字以内の報告書の提出
② 会計報告の提出
③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)
④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

10．申請書類の提出先

〒110－8408
東京都台東区台東4－19－9 山口ビル7　栄研化学株式会社内
公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)
公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局
TEL　03-5846-3504
FAX　03-5846-3514
E-mail　info@kmf.or.jp

附記　○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。（年度毎に改訂されますのでご注意ください。）
URL　http://www.kmf.or.jp/
○ 所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。
○ 応募の書類は一切返却いたしません。

第22回研究助成金贈呈者の研究課題一覧（平成26年度）　参考

氏　名	所　属	研　究　課　題	選考対象
石井　敦士（いしい　あつし）	福岡大学病院小児科 助手　医学博士	乳幼児期発症の難治性有熱時てんかん患者 300名に対して、次世代シークエンサーを利用したTarget capture法により、てんかん関連400遺伝子の変異保有率と変異遺伝子による表現型の検証	分子生物学
岩谷　壮太（いわたに　そうた）	神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 博士課程	ビリルビン誘導蛍光タンパク質(UnaG)を用いた新たな血清ビリルビン測定法の開発	臨床化学
宇野　直輝（うの　なおき）	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学（臨床検査医学） 助教　医学博士	成人T細胞白血病に対する新たなフローサイトメトリー検査法の開発	検査血液学
大河戸　光章（おおこうど　みつあき）	杏林大学保健学部 病理学研究室 講師　保健学博士	肛門管上皮内腫瘍における細胞診判定基準に関する研究	人体病理学
岡田　賢（おかだ　さとし）	広島大学病院小児科 助教　医学博士	顆粒球抽出抗原を利用した新規抗ヒト好中球抗体測定法の開発	臨床免疫学
影山　祐子（かげやま　ゆうこ）	東京大学医学部附属病院 検査部　臨床検査技師 保健学博士	スフィンゴシン1リン酸作用修飾による門脈圧亢進症治療の適応症例の解明	臨床化学
齋藤　良一（さいとう　りょういち）	東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 准教授　保健学博士	*Clostridium difficile* の分子疫学とその感染対策への応用に関する研究	臨床微生物学
軸薗　智雄（じくぞの　ともお）	小山記念病院 甲状腺科 部長　医学博士	穿刺吸引細胞診検体のマイクロRNA解析による甲状腺濾胞癌診断技術の開発	分子生物学
下仮屋　雄二（しもかりや　ゆうじ）	三重大学医学部附属病院 中央検査部 副臨床検査技師長	多項目自動血球分析装置による幼若顆粒球比率(IG%)、幼若顆粒球数(IG#)、幼若血小板比率(IPF%)測定の臨床的有用性の検討	検査血液学
田中　瑞子（たなか　みずこ）	福島県立医科大学 基礎病理学講座 助教　医学博士	原発性ネフローゼ症候群の新規診断マーカーの確立	人体病理学
中本　伸宏（なかもと　のぶひろ）	慶應義塾大学医学部 内科学教室（消化器） 助教　医学博士	新規バイオマーカーCCR9を用いた重症急性肝炎の劇症化予測	臨床免疫学
西浦　博（にしうら　ひろし）	東京大学大学院医学系研究科 国際社会医学講座 准教授　保健学博士	ヘマグルチニン抑制試験の抗体価による人口レベルのインフルエンザ感受性分布と感染リスクの推定	疫学
飛田　征男（ひだ　ゆきお）	福井大学医学部附属病院 検査部 主任臨床検査技師 医学博士	遺伝子学的手法を用いた *C.pneumoniae* と *C.psittaci* の鑑別法の開発とクラミジア肺炎における臨床応用	臨床微生物学

総申請者　　153名
研究助成金総額　1,200万円(内訳 100万円:3名、90万円:10名)

所属機関長殿

平成27年度 研究助成のご案内について

拝啓　時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を2本の柱とする事業を展開しております。

さて、平成27年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。

ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、平成27年5月29日（金、当日消印有効）までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお手配の程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

平成27年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

理事長　中谷　林太郎

※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。
TEL 03-5846-3504　FAX 03-5846-3514
URL http://www.kmf.or.jp　E-mail : info@kmf.or.jp

年　度	氏　名	所　属　機　関
第２８回 1992年（平４）11月	32.日野 茂男 博士	鳥取大学医学部ウイルス学　教授
第２９回 1993年（平５）11月	33.小澤　敦 博士	東海大学医学部　特任教授
第３０回 1994年（平６）11月	34.速水 正憲 博士	京都大学ウイルス研究所　教授
第３１回 1995年（平７）11月	35.佐藤 勇治 博士 36.木村三生夫博士	前・国立予防衛生研究所細菌部　室長 東海大学名誉教授
第３２回 1996年（平８）11月	37.宮村 達男 博士	国立予防衛生研究所ウイルス第２部長
第３３回 1997年（平９）11月	38.相川 正道 博士 39.本田 武司 博士	東海大学総合医学研究所　教授 大阪大学微生物病研究所　教授
第３４回 1998年（平10）10月	40.中村 信一 博士	金沢大学医学部医学科（微生物学）教授
第３５回 1999年（平11）10月	41.光山 正雄 博士	京都大学大学院医学研究科　教授
第３６回 2000年（平12）10月	42.内山 竹彦 博士	東京女子医科大学微生物学免疫学　教授
第３７回 2001年（平13）10月	43.尾身　茂 博士	WHO西太平洋地域　事務局長
第３８回 2002年（平14）10月	44.品川 森一 博士	帯広畜産大学公衆衛生学　教授
第３９回 2003年（平15）10月	45.橋爪　壮 博士	(財)日本ポリオ研究所　理事長
第４０回 2004年（平16）10月	46.山口 惠三 博士	東邦大学医学部微生物学講座　教授
第４１回 2005年（平17）10月	47.渡辺 治雄 博士	国立感染症研究所　副所長
第４２回 2006年（平18）10月	48.西山 幸廣 博士	名古屋大学大学院医学系研究科微生物・ 免疫学講座ウイルス学分野　教授
第４３回 2007年（平19）10月	49.馬原 文彦 博士	馬原医院　院長
第４４回 2008年（平20）10月	50.岡本 宏明 博士	自治医科大学感染・免疫学講座 ウイルス学部門　教授
第４５回 2009年（平21）10月	51.伊藤　亮 博士	旭川医科大学医学部寄生虫学講座　教授
第４６回 2010年（平22）10月	52.藤田 尚志 博士	京都大学 ウイルス研究所 教授
第４７回 2011年（平23）10月	53.吉開 泰信 博士	九州大学生体防御医学研究所附属感染ネットワーク研究センターセンター長 教授
第４８回 2012年（平24）10月	54.荒川 宜親 博士	名古屋大学大学院医学系研究科 分子病原細菌学／耐性菌制御学分野 教授
第４９回 2013年（平25）10月	55.江崎 孝行 博士	岐阜大学大学院医学系研究科 再生分子統御学講座 病原体制御学分野 教授
第５０回 2014年（平26）10月	56.中谷比呂樹博士 （業績の題目）不健康と貧困の悪循環を断つための地球規模での公衆衛生学的アプローチ	世界保健機関（WHO）本部 事務局長補　医学博士

平成27年度 第51回
「小島三郎記念文化賞」推薦依頼

拝啓　春暖の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本事業は、元国立予防衛生研究所長故小島三郎博士のご遺徳を永く記念すべく、１９６５年（昭和４０年）４月に創設され、その記念事業の一つとして「小島三郎記念文化賞」が設定されております。

本賞は、故小島三郎博士が広く関係をもたれていた病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において学問的に顕著な業績をあげた方に贈呈するものであります。

つきましては、貴殿より次頁の審査規定をご参照の上、本賞該当者のご推薦を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

平成２７年３月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

理事長　中谷 林太郎

※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東 4-19-9　山口ビル７　栄研化学株式会社内にあります。
TEL 03-5846-3504　FAX 03-5846-3514
ＵＲＬ　http://www.kmf.or.jp
E-mail：info@kmf.or.jp

平成 27 年度 第 51 回
「小島三郎記念文化賞」審査規定

1．本賞は「小島三郎記念文化賞」と称する。

2．本賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究成果に対して贈るものである。

3．審査の対象は、原則として最近の業績であり、かつ、評価の定まったものとする。

4．本賞の審査は、本財団が委嘱した選考委員がこれを行う。

5．推薦は、本財団が関係領域の学識経験者に委嘱するのを原則とする。

6．本賞の審査は毎年１回行う。

附則

（1）**推薦用紙は、本財団ホームページよりダウンロードしてご使用ください。**（年度毎に改訂されますのでご注意ください。）

（2）論文別刷等を同封してください。

（3）締切りは平成 27 年 5 月 29 日（金）必着とします。

（4）送付先

（切り取ってご使用ください）

〒110-8408
東京都台東区台東 4-19-9　山口ビル７
栄研化学（株）内
公益財団法人 黒住医学研究振興財団宛

小島三郎記念文化賞の第 50 回までの受賞者は次の方々です。

年　度	氏　名	所　属　機　関
第１回 1965 年（昭 40）12 月	1.奥野 良臣 博士 2.野村 達次 博士	大阪大学微生物病研究所　教授 実験動物中央研究所　所長
第２回 1966 年（昭 41）12 月	3.飯田 広夫 博士	北海道立衛生研究所　副所長
第３回 1967 年（昭 42）12 月	4.善養寺 浩 博士	東京都立衛生研究所　細菌部長
第４回 1968 年（昭 43）12 月	5.武谷 健二 博士	九州大学医学部細菌学　教授
第５回 1969 年（昭 44）12 月	6.阪口 玄二 博士	国立予防衛生研究所　食品衛生部
第６回 1970 年（昭 45）12 月	7.佐々木正五博士	慶応義塾大学医学部微生物学　教授
第７回 1971 年（昭 46）12 月	8.鈴木祥一郎博士 9.上野　一恵博士	岐阜大学医学部微生物学　教授 岐阜大学医学部微生物学　助教授
第８回 1972 年（昭 47）12 月	10.堀田　進 博士	神戸大学医学部微生物学　教授
第９回 1973 年（昭 48）11 月	11.西田 尚紀 博士	金沢大学医学部微生物学　教授
第１０回 1974 年（昭 49）11 月	12.高部 益男 博士	前ＷＨＯ伝染病防疫部長
第１１回 1975 年（昭 50）11 月	13.高橋 理明 博士	大阪大学微生物病研究所　助教授
第１２回 1976 年（昭 51）11 月	14.桑原 章吾 博士	東邦大学医学部微生物学　教授
第１３回 1977 年（昭 52）11 月	15.小池 聖淳 博士 16.松本 清一 博士	佐賀医科大学　副学長 京都大学ウイルス研究所癌ウイルス部教授
第１４回 1978 年（昭 53）11 月	17.近藤　勇 博士	東京慈恵医科大学細菌学　教授
第１５回 1979 年（昭 54）11 月	18.横田　健 博士	順天堂大学医学部細菌学　教授
第１６回 1980 年（昭 55）11 月	19.本間　遜 博士	東京大学名誉教授
第１７回 1981 年（昭 56）11 月	20.牧野　慧 博士	北里研究所ウイルス部長
第１８回 1982 年（昭 57）11 月	21.中谷林太郎博士	東京医科歯科大学微生物学　教授
第１９回 1983 年（昭 58）11 月	22 中江 太治 博士	東海大学医学部総合医学研究所　教授
第２０回 1984 年（昭 59）11 月	23.本間 守男 博士 24.中嶋　宏 博士	神戸大学医学部微生物学　教授 ＷＨＯ西大平洋地域　事務局長
第２１回 1985 年（昭 60）11 月	25.竹田 美文 博士	東京大学医科学研究所　教授
第２２回 1986 年（昭 61）11 月	26.西岡久壽彌博士	北里研究所肝臓病研究センター顧問
第２３回 1987 年（昭 62）11 月	27.須藤 恒久 博士	秋田大学医学部微生物学　教授
第２４回 1988 年（昭 63）10 月	28.山西 弘一 博士	大阪大学微生物病研究所　助教授
第２５回 1989 年（平元）11 月	29 五十嵐 章 博士	長崎大学熱帯医学研究所　教授
第２６回 1990 年（平 2）11 月	30.斎藤 和久 博士	国際医学情報センター　理事長
第２７回 1991 年（平 3）11 月	31.倉田　毅 博士	国立予防衛生研究所　病理部長